

お〜い	平成24年	126
	月刊	5月号
発行	お〜い編集委員会	
	品川区西大井 4-1-8	
	大井第三地域センター内 ☎ 3773-2000	

大井第一エンジェルス 品川区新人戦大会 優勝

1月8日(土)品川女子学院において、品川区小学生バレーボール連盟主催新人戦大会が行われました。昨年10月の都大会を最後に6年生が引退し、11月から5年生中心に編成された新チームで参加する初めての公式戦でした。今回、晴れて優勝することができましたが、優勝までの道のりは決してたやすいものではありませんでした。午前中の予選リーグから、油断をして少しでも気を抜けば、相手チームに得点されて負けてしまい

そうな、ハラハラさせられる場面が度々見られ、安心して観ていられる試合ではありませんでした。が、この日、チームとして良かった点は、ここぞという場面での集中力が高かった、粘り強いプレーが度々見られ、「何がなんでもボールを落とさないぞ！なんとかして、仲間が上げたボールをつないで返すぞ！」というみんなの気持ちが強かったように思います。こうして、1戦1戦勝ち進み、初の決勝戦進出となりました。



初めて経験する決勝戦。緊張しているのは子どもたちばかりではありませんでした。見守る大人たちもガチガチに緊張していました。ここまで勝ち進んでこれたのだから、優勝して欲しい。チーム関係者が皆、そう願うなか、決勝戦はスタートしました。予想どおりの一進一退のシーソーゲーム。相手チームも全力で向かってくるので、1点を取るのがなかなか難しく、1点の重みを感じた試合でした。得点するたびに大歓声が沸き起こり、子どもたちもものすごいプレッシャーの中で戦っていたと思います。コートの中でプレーする6人、コートの外で声を張り上げ応援する他のメンバー、見守る監督、保護者も手に汗握りながら、必死に応援しました。フルセット(3セット)に持ち込んだ末、粘りに粘って勝利！「やった〜！優勝だ！私たち、優勝したんだ！！」優勝が決まった瞬間、自分たちが成し遂げた勝利に驚きつつも、嬉しさが込み上げ、溢れるうれし涙……。本当に嬉しい瞬間でした。自信に満ちた子どもたちの顔がとても印象に残っています。日頃、監督から言われている事は「コートの中では大きな声を出して元気いっぱいプレーすること。人まかせにしないこと。あきらめないこと」。きっと、また素晴らしい試合ができると信じています。これからも頑張ろう！大井第一エンジェルス！

(大井第一エンジェルス 保護者 岩崎 記)

新一年生おめでとう

満開の桜とともに今年も“ピカピカの一年生”が誕生しました。この大井第三地区でも196名(3月1日現在)の新一年生がいます。各町会ごとの人数は表

各町会別新入生人数

- 鹿島町会：30人
- 庚塚町会：29人
- 出石町会：25人
- 西大井二丁目町会：32人
- 西大井四丁目町会：30人
- 西大井五丁目町会：32人
- 西大井六丁目町会：18人

の通りです。

ともすればランドセルが歩いている様にも見える一年生ですが、大きな希望に胸をふくらませ、ほこらしげに通学する姿に「ガンバレ！！」とつい声をかけたくなります。地域の一員として子どもたちが元気に通学できるように見守り続けたいと思います。



(金澤 記)

大井第一小学校「大まつり」

3月3日(土)に大井第一小学校PTA主催の「大まつり」が開催されました。前日の雨の影響で校庭が使用できないため、先生方、役員、PTA各部、同窓会、すまいるスクールのお店が15ほど体育館と教室に分かれてならびました。

体育館でのオープニングイベントでは、すまいるスクールのハンドベル教室とエイサー教室の子どもたちが、日頃の練習成果を披露してくれました。「開店します」の放送が流れると、「どのお店に行く？」「これおいしそう！！」といった楽しそうな会話が聞こえ、お店の前にはあっという間に長蛇の列ができました。シートが敷き詰められた教室では、子どもたちが遠足の時のように輪になって座り、うどん、肉団子、チョコバナナなどを食べ、また体育館では、ラムネすくい、豆つまみなどのゲームで熱く盛り上がっていました。

第二音楽室では、ゲスト参加の第一日野小学校の佐藤さんたちが、鉄道模型の見学と体験をさせてくださり、鉄道好きの子どもたちで賑わっていました。

すべてのお店を回り終わった子どもたちから、「もっとやりたい」「もっと食べたいな」という声が大きくなってきた頃、「おかわりタイムスタートです」の放送が流れ、待ちかねていた子どもたちで再び店の前には列ができました。午後2時の終了予定時刻には、ほとんどのお店で売り切れとなり、今年も大盛況のうちに終わることができました。

(小山 記)

